

展覧会の御案内

うえしまりようしゅう

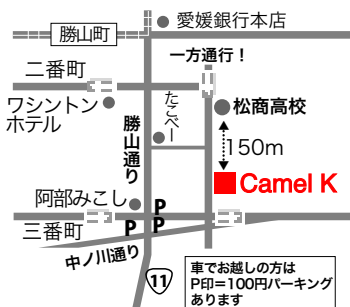
福をよぶ上島令嵩の 吉祥版画展

会期 十二月八日・九日・十日 3日間
会場 ギャラリーキャメルK

※午前十一時〜午後六時（最終日は午後五時閉場）



「にっこり地藏」
シルクスクリーン



gallery
Camel K

ギャラリーキャメルK
〒790-0877愛媛県松山市錦町33-3
☎ (089) 913-2002
<http://camelk.daa.jp/>



「未のおやこ」

上島さんのウイットに富む世界

1994年の国際コンペ・読売国際漫画大賞作家として知られる松山市在住の上島さんが、お正月を前に、お目出度い図像が含まれた版画をまとめて展示する。

悪いニュースばかり続く世の中に微笑みを送るかのような上島さんの今回の版画展は楽しさ一杯の気分をふりまく。

「笑門来福」のころ

作者はもともと年賀のポスターを版画で自作してこられたながい経験があって、その年の干支と日の出を組み合わせて吉祥の願いを込めて制作してこられたのです。

今回もその主人公たちが登場して、おおいに愛嬌をふりまく。

作品を眺めていると、子どもの保護者である「鬼子母神」の図像や、縁起の良い「伊予13佛」の版画掛け軸、不動尊など、魔を払う「笑門来福」のころをのせて、しあわせを願う私たちの気持ちにひとひねりした上島さんの作品が素直にフィットする。

ねずみ

新作の「子」に取りくまれています

来年の干支はねずみです。昔から日本ではねずみの居る家は食べ物の豊富にある証として安泰を約束する図像でした。鏡餅にネズミの図は豊かさを表しています。昔子どもだったひとたちにとっては、愛くるしい「ミッキーマウス」や、敵対していても結局は友達の「トムとジェリー」もネズミの物語として楽しい記憶です、上島さんどんな版画が出来るのでしょうか。楽しみです。

作品点数約15点



「オーバーザレインボー」

作家近影
自宅版画工房にて